

軟式野球部 春に続き夏の大会でも準優勝

耐久高校軟式野球部は7月20日から23日にわたって開催された、「第64回全国高等学校軟式野球選手権 和歌山大会」に出場しました。シード校である耐久は21日に新宮高校と対戦し、1-0で勝利。22日に行われるはずだった決勝戦は雨天のため順延となり、23日に、春季大会の優勝校である南部高校との決勝戦に臨みました。

春季大会の決勝戦と同カードの対戦ということで、『必ず雪辱を果たし、近畿大会への出場権を勝ち取る』という強い思いをもってチーム一丸となりプレーしましたが、やはり王者・南部高校は一枚上手。こちらは全力を出し尽くしましたが、得点には至らず、2-0で敗れ、準優勝となりました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。

3年生2名はこの大会で引退となります。もちろん悔しさはあるでしょうが、試合後はすがすがしい表情を浮かべていました。春の大会以上に相手と渡り合えたことは、自信と誇りになったことでしょう。3年間の部活動で身に付けたことを、今度は進路実現という形で発揮してもらいたいと思います。

これからは2年生、1年生が主体となつての部活動となります。新たなチームの目標はもちろん秋季大会の優勝。さらに勢いを増して練習に打ち込んでまいります。引き続きの応援よろしくお願いいたします。（軟式野球部 監督 玉置）（軟式野球部 部長 田中）

